

別紙 2

目次

I. 総括研究報告	……………3
食中毒原因ウイルス等の汎用性を備えた検査法と制御を目的とした失 活法の開発のための研究	上間匡
II. 分担研究報告	
1. パンソルビン・トラップ法による食品からのウイルス検出法に関する検討	上間匡 ……………11
2. 食品からのウイルス検出法への NGS の導入に関する検討	元岡大祐……………16
3. ノロウイルス等の検出・不活化評価のための研究	吉村和久……………20
4. ノロウイルスの疫学動向の解析	木村博一……………24
5. 米国および英国における食中毒事件発生時のウイルス検査に関する調査	窪田邦宏……………27
6. ノロウイルス、サポウイルスの不活化条件に関する情報収集	上間匡 ……………35
7. 腸管オルガノイドを用いた HuNoV 増殖系によるウイルス不活化条件の検討	村上耕介……………40
8. ヒトノロウイルスの in vitro 増殖系を用いたウイルス不活化条件の検討	佐藤慎太郎……………43
9. 食品等従事者における上気道飛沫中のノロウイルスの調査	岡智一郎……………47
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	……………52
IV. 倫理審査報告書の写し	……………55